

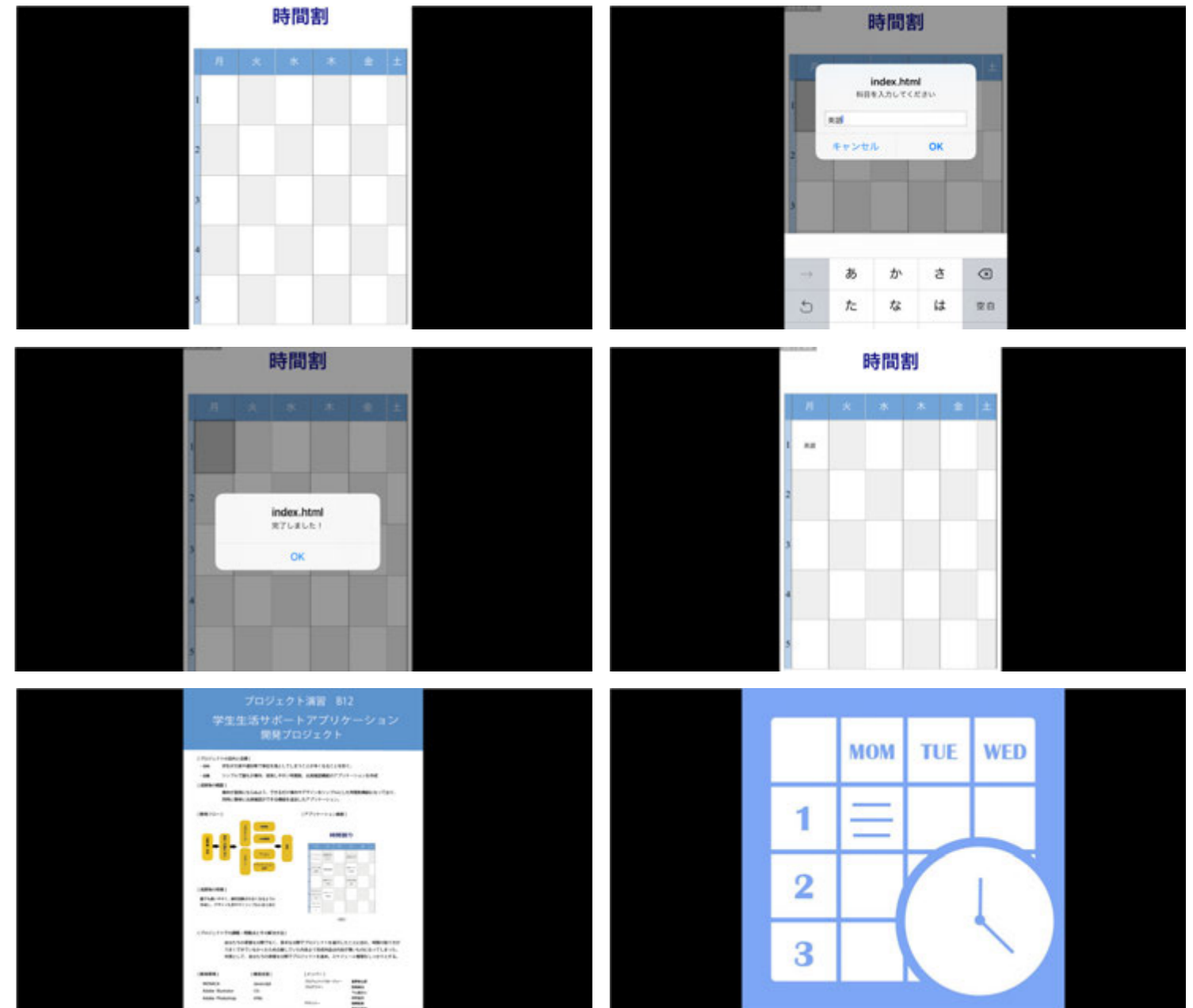
学生生活サポートアプリケーション開発プロジェクト

Student life support application development project

プロジェクトマネージャ	b5p31065	高野俊太郎	デザイナー	b5p31028	尾崎結美
プログラマ	b5p31079	西尾俊也	デザイナー	b5p31028	喜屋武愛莉
プログラマ	b5p31111	米田圭佑	プログラマ	b5p31059	下山亜沙人

時間割り

	月	火	水	木	金	土
1	ゲームクリエイション	情報倫理とモラル		経営学入門		
2	メディア表現論	情報英語B		情報システム特論C		
3		映像メディア論		自然科学基礎		
4	コンテンツプランニング	プロジェクト演習C				
5	ブランディングデザイン					



■プロジェクトの概要

計画では時間割機能の他に、自分が指定した場所以外では出席確認ができない機能、課題締め切り通知機能、交通案内機能などを開発しようとしたが断念し、操作が面倒にならないよう、できるだけ操作を簡単にし、操作ミスなどが起こらないようにし、デザインもシンプルでわかりやすい勘違いも起こらないようにした時間割アプリケーションを開発した。

■プロジェクトの目的と背景

大学生が遅刻や欠席回数の勘違い、課題の提出忘れなどによる単位を落としてしまうことを防ぎたいと考えた。遅刻や欠席回数の勘違いはしっかりと記録していないことが問題であると考えて、出席確認のようなもので対応し、課題の提出忘れもしっかり記録し記憶し、通知があれば防げると考え、締め切り通知で対応しようと考えた。このようなサポート機能をつけた時間割アプリケーションの開発が目的である。

■プロジェクトの目標と特徴

このプロジェクトでは学生サポートアプリケーション開発をしたいと考えたため、時間割を軸に出席確認、課題期限通知機能を導入したアプリケーションを開発しようとした。類似事例は多くあったので発展させるために、出席確認を自分が設定した場所でしか行えないという機能を開発しようとした。そのほかに google api を使った交通案内を入れ他のアプリケーションとの違いを作ろうとした。

■プロジェクトの成果と考察

最初に立てた計画は大きくずれてしまった。そのため作ろうと考えていた機能が完成できなかった。達成度は半分といったところである。今回のプロジェクトでは開発のための班全体での作業が少なく、班員同士の考えがあってなかった。さらに学習に大きく時間を取られ作業が遅れた。これは時間を合わせて班作業の回数を増やすことと半全員と一緒に学習することで学習効率上がるため、問題を解決できると思う。

■開発環境

ソフトウェア

Monaca
Adobe photoshop
Adobe illustrator

ハードウェア

Windows 10
Mac

■実行環境

OS: Iphone

■プロジェクト成果物

作品データ (monaca ファイル 65MB)	1点
研究発表用ポスター (A2版)	1点